



激動の一年間だったからこそ・・・

校長 佐野 一機

本年度最後の学校だよりとなりました。新型コロナ感染防止のための臨時休校が始まったのが、昨年度の3月3日。ちょうど、一年前になります。通常、政府の決定は、県・市の教育委員会を通して、通知があつて知ります。しかしこの時は、政府の決定をニュースで初めて知りました。それだけに「とんでもないことになるぞ。」という強い危機感を感じました。子供たちの学びはどうする、自宅に保護者がいない児童の受け取れを実施するのもしないのか、卒業式はどうなるのか……。まさしく混乱状態でした。

しかし、臨時休校という異例の事態の中、様々なSNSで、臨時休校中にどのような学びが可能かという教職員の情報共有グループが作られました。私もいくつかのグループに参加しましたが、「子供たちの学びを止めない」という合言葉のもと、どのような連携ができるか、どのようなシステムが利用できるか、今できることはなにかという真剣な議論と実践がありました。

こうした流れを受け、和光市でもSLACKを活用した子供たちへの課題提供が始まりました。なにぶん苦肉の策ではありましたが、この取り組みの中で、広沢小学校の先生たちも、映像資料・写真資料を活用した学習課題提供・教材提供を実施しました。こうした流れは、コロナ禍という負の流れの中で、一筋の光のように感じました。

長い臨時休校を経て、分散登校が始まったのが5月12日。恐る恐るの再開でした。例年だと、新しい友達・先生との出会いで、多少騒がしいくらいですが、本年度は、本当に静かな教育活動再開でした。そんな中でしたが、広沢小学校の子供たちの生活の仕方は大変素晴らしいものでした。マスク着用率はほぼ100%。「手洗い」「体温測定」「マスク」「換気」「きより」「エチケット」の六つの「感染を防ぐための生活の約束」をしっかりと守ってくれました。感染が拡大する中、広沢小学校が感染経路となる事態が発生しなかったのは、この子供たちの頑張りがあったからでした。

二度目の緊急事態宣言の発令があり、6年生が楽しみにしていた修学旅行の実施が絶望的になりました。しかし6年生たちは、不平不満を表に出すのではなく、下級生への思いやりの心や、仲間を思う心を常に持って生活してくれました。こんな大変な年だったからこそ、6年生の皆さんの成長を強く感じました。

1年生の皆さんは、入学式もできないままのスタートでした。異学年交流もできない中、ちゃんと学校生活に馴染んでいけるのか、心配していましたが、そんな心配は無用でした。1年生の皆さんは日に日に成長し、この困難な一年間を乗り切りました。

2年生から5年生の皆さんも同じです。色んな制約がある中、みんなは友達のためを思い、家族のためを思い、そして自分の成長のために努力しました。皆さんのがんばりに心からの感謝を伝えたいと思います。こんな大変な年でも、皆さんは立派に成長しました。これから先どんな大変なことがあっても、みんななら、きっと乗り越えられます。

保護者の皆様、地域の皆様には、常日頃からの学校教育へのご理解・ご協力に感謝申し上げます。次年度も、まだまだ手探りのスタートですが、子供たちと共に、より良い学校を目指して参ります。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

3月の行事予定

- 2日(火) 学校朝会
- 3日(水) お弁当の日
放課後子ども教室
- 4日(木) スクールカウンセラー<午前>
- 10日(水) 学校運営協議会
- 17日(水) 社会科見学【6年】
- 18日(木) 社会科見学【5年】
- 19日(金) 社会科見学【4年】
- 23日(火) 給食終了 下校13時30分
さくら連絡網テスト配信日
- 24日(水) 卒業証書授与式(受付:9時)
お別れの式(下校8時45分)
- 25日(木) 3時間授業(下校11時30分)
- 26日(金) 3時間授業(下校11時30分)
修了式



4月当初の行事予定

- 6日(火) 新6年生準備登校
- 8日(木) 始業式(下校9時50分)
入学式(受付:10時)
- 9日(金) 3時間授業(下校11時30分)
- 12日(月) 3時間授業(下校11時30分)
- 13日(火) 給食開始
懇談会【高】
- 14日(水) 懇談会【中】
- 15日(木) 懇談会【低・み】

<給食費の集金について>

年度当初の臨時休校による給食回数変更のため、3月分の給食費は、**4,780円**です。3月に校外学習が予定されている4,5,6年生は1食分減額した**4,518円**になります。年度途中で転入された方や転出される方で給食費が変更になる場合は、個別に金額をお知らせいたします。

なお、3月は再振替日がありませんので、引き落としは**10日(水)の1回のみ**です。そちらで引き落としできなかった場合は現金集金になりますので、前日までに入金のご確認をお願いします。

<卒業証書授与式及びお別れの式>

3月24日(水)は、卒業証書授与式及びお別れの式が予定されており、子供たちはいつも通りの時間に登校します。8時30分より、卒業生が各教室を回り最後のお別れの式を行います。終了後、1年生から5年生は下校となり、6年生と保護者、教職員が卒業証書授与式に出席します。

現在のところ、保護者は1名参加(受付は9時、開式は9時20分)の予定です。換気や座席間隔の確保、式の時間短縮等、感染症対策を行いながら式を実施する準備を進めています。内容等変更になる場合はお知らせします。

なお、在校生の持ち物は校帽のみで、ランドセルや健康観察カードは必要ありません。

<何ができるかを考えながらの一年>

臨時休校から始まった令和2年度、これまで当たり前のように行ってきた運動会や音楽会等の行事が行われなく、授業参観や懇談会も実施できない等異例づくしの一年となりました。そのような中、職員と子供たちが知恵を出し合いながら、限られた条件の中で何ができるかを考えながら過ごした一年であったように思います。

「たれば」を考えると暗い気持ちにもなりますが、広沢小の子供たちの笑顔にいつも教職員の方が力をもらっていたように思います。このような状況下でも子供たちはたくましく、生き生きと学ぼうとする姿が随所に見られたことを嬉しく思います。

<狂言教室(6年生)>



<助産師出前授業(2年生)>



<お礼>

赤い羽根共同募金へのご協力、ありがとうございました。皆様からお預かりしました**3,220円**は、和光市社会福祉協議会へ寄附させていただきましたことをご報告いたします。